

小林正人 『サブプライム金融危機の機序とサブプライム証券化機構』2018 年
6~7

疑問点・論点

7 章において、サブプライム層という異名をつけられた低所得者層が住宅欲しさに無理な借金をしたことが住宅バブルの原因ではなく、サブプライム証券化機構内の金融機関たちが高収益を追求して競争したことが住宅バブルの原因であり、そしてサブプライム金融危機の原因でもある（53 頁右側下から 6 行目）とあるが、このような状況に陥らないようにするにはどのような対策をすればよいか。

A 班

所得に応じて証券の格付けを明確にし、再分化させて、顧客にあった証券を提供する。

・ C 班からの意見

「再分化」の「再」に含まれる意味は？

→格付けをし直すという意味。

B 班

競争を抑えるために投資銀行やモーゲージ・バンクが市民による投機目的の物件購入をおおることを制限する。

・ A 班からの意見

取引そのものを変える

・ D 班からの意見

購入者に対する制限はするのか？

C 班

高所得者の人たちも儲けるためにサブプライムローンを利用したため、大規模な住宅バブルになってしまったので、高所得者はプライムローンを組めばよかった。

D 班

投機目的の人と居住する人でローンを組ませるか組ませないか区別して、競争を激化させない。

・ C 班からの意見

投機目的の人にはローンを組ませないという意味でよいか。